



すずらん



謹んで大雨による災害のお見舞いを申し上げます

この度の大雨により被災されました皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。
一日も早く復旧されますよう、心からお祈りいたします。

美樹会会長 山田 利英子



同窓会美樹会会長
山田 利英子
昭和53年卒
短期大学部幼児教育学科

時代と共に

平成も、来年5月で新しい「年号」に代替わりするとともに、皇太子殿下が「天皇」となり日本の「象徴」となります。
現在の天皇陛下は、「古い仕来り」を皇后陛下と力を合わせて「皇室」を改革され、その時代に合った新しい天皇家を育んでこられました。今まさに、「日本の象徴」が次の世代へと移り変わってゆく歴史の転換期を我々は生きています。
我、大学も男女共学化となり「広島文教女子大学」から

「広島文教大学」へと、大学の状況も時代の流れとともに変革しています。同窓会「美樹会」も、在学生のみなさんが、学生生活を過ごしやすい学舎になるよう、役員一同、協力させていただきます。



大学の教育改革 について

理事長 武田 義輝

卒業生の皆さん、お元気でご活躍のことと存じます。
すでにご存じの方も多いと思いますが、現在、本学では大規模な教育改革に取り組んでいます。その内容は大きく3点あります。一つは、共学化、二つめは教育学部の新設、そして三つめには新校舎の建設です。
武田学園は創立以来、一貫して女子教育を行ってきました。そして、大学が設立されてから半世紀以上が経ちました。女性の就労が当たり前の社会情勢となった昨今、職場をはじめとした様々な場面で男女の垣根なく同じ役割を果たすことが求められています。そうした社会情勢を鑑み、これまでの女子大学から共学への道を進むことこそが文教生の

将来の礎になると考えました。そして、平成31年度より初等教育学科を教育学部教育学科として改組することを機に、男女共学化への転換を検討してきました。教育学部では、保育士から高等学校教員までを養成しますが、教育現場では、小学校、中学校、高等学校と進むにつれて、教員の女性比率は低くなります。そこで、教育学部を設置するこの機会に、同時に共学化を実施することに決定しました。

また、現在、旧正門の辺りから図書館・1号館の辺りにかけて、5,000㎡弱の新校舎を建設しています。新校舎の建設は19年振りとなります。この校舎は来年3月に完成する予定で、4月からは教育学部専用棟として活用していきます。また、来年夏以降には現在の1号館の取り壊し、中庭の再整備も計画しています。

一連の整備事業が終わると、大学の景観もかなり変わると思います。卒業生の皆さん、ぜひ発展した文教を見に来てください。

ここからゆっくりおはがしください。

「文教」新たなステージへ



“心を育て人を育てる”という教育理念のもと、学園創設以来70年に渡り、技術や技能だけではなく、その土台となる人間性をはぐくむ教育を行ってきた武田学園。これまで培ってきた教育力をさらに高め、多様な社会ニーズに応えるために、2019年4月「広島文教女子大学」は「広島文教大学」へと生まれ変わり、男女共学化、教育学部新設(予定)、という大きな改革を実施します。

■男女共学への移行

新設を予定している教育学部では、保育士養成課程および幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員養成を行ってまいります。全国の教員男女比を見ますと、学校種が上がるほど男性教員の比率は上昇し(高等学校では7割を超えています)、教員を養成する現場に男女が共に学び合う環境が有効であることを示唆しています。また、男女共同参画社会の実現が叫ばれる昨今の社会情勢や少子化の進展を踏まえ、本学では2019年4月より男女共学化することといたしました。これにあわせて、大学名も「広島文教大学」に変更いたします。

■新学部「教育学部・教育学科」の設置(予定)

本学では、教員を養成するコースとして、人間科学部に初等教育学科を設置し、主に小学校教員の養成に顕著な実績を有しています。これまで以上に充実した教育活動を行うため、2019年4月に初等教育学科を改組転換し、教育学部を設置することといたしました。この新学部の開設により、教員を希望する高校生の夢の実現を強力にサポートする教育を実現いたします。

*学部・学科等(定員) 教育学部 教育学科定員:150名
初等教育専攻 定員:120名
幼児教育コース/児童教育コース
中等教育専攻 定員:30名
国語教育コース/英語教育コース



*取得可能な主な資格・免許
●幼稚園教諭一種免許状 ●小学校教諭一種免許状
●中学校教諭一種免許状(国語・英語)
●高等学校教諭一種免許状(国語・英語) ●保育士資格
●学校図書館司書教諭



「育心育人」教育の価値について

学長 森下 要治

2015年4月1日に連載の始まった朝日新聞朝刊のコラム「折々のことば」。執筆者は、哲学者 鷺田清一さん。引用されるさまざまな人びとの「ことば」とそれに触発され紡がれた鷺田さんの「ことば」とによって、ほぼ毎日、同紙の第一面を飾っています。このコラムに選ばれる「ことば」の主な幅広さは、ため息が出るほどです。例えば連載開始から1週間の「ことば」の主は、次のとおり—大岡信(詩人)、たこ八郎(コメディアン)、松尾芭蕉(俳人)、アルチュール・ランボー(詩人)、関西での言い伝え(俗言)、三木清(哲学者)、ジャズのスタンダードナンバー(楽曲名)…といった調子です。しかしそれらはいずれも、決して奇をてらって選ばれたものではありません。コラムの主である鷺田さんは、いずれの「ことば」にも深く沈潜し、「ことば」の主の生き方に目を凝らし、そこから

普遍的な価値を拾い上げてくれています。

私にとっては、手に取ることさえしなかった書籍の一節や、直接関わられるはずのない方々の何気ない一言などはもちろん新しい発見なのですが、以前に読んだはずの書物から珠玉の一言が引用されること再びあり、そのほとんどの場合、私はその「ことば」たちを読み飛ばしていたことに気づかされるのです。

第749回(2017年5月10日)は、内村鑑三『代表的日本人』からの引用でした。「私どもは、学校を知的修練の売り場とは決して考えなかった。／修練を積めば生活費が稼げるようになるとの目的で、学校に行かされたのではなく、真の人間になるためだった」と。これに鷺田さんは、「教育は、これに精進すればこんな見返りがあるという論法でなされるものではない」と続けています。

私たちの学園の「育心育人」の理念の真っ当さを、改めて教えられた思いでした。

2019年4月、男女共学・新学部設置という大きな変化が待ち受けていますが、本学伝統の教育理念を、これからも胸を張って守り続けます。



卒業生と手を携える人間福祉学科の素晴らしい取り組み

美樹会参与 副学長 岡 利道

昨年の夏のことになるが、これまで堅実に活動を続けてこられた広島文教女子大学人間福祉学会島根ブロック大会に参加させていただくことができた。のちに紹介する同窓会員のご活躍をお伝えできるこの役目を、誠に誇りに思う。

8月5日(土)の午後、島根県雲南市チェリヴァホールが会場。地元社会福祉関係者および高校生、そして本学人間福祉学科の卒業生・在校生・教員が集った研修会である。主催が雲南広域連合と広

島文教女子大学であり、行政の方も沢山お見えになり、もちろん森下学長も参加された。

写真は、研修会後の記念の一枚である。木村敦子人間福祉学科長、講演をされた中村卓治教授、実践発表者であった曳野由季子さん(人間福祉学科1期生)と玉木友佳子さん(同3期生)をはじめとした関係各位のお姿である。やはり、フォーラム「伝えたい福祉の魅力」で、精神科ソーシャルワーカーの曳野さんと医療ソーシャルワーカーの玉木さんが、自信あふれる報告をされたことが強く印象に残った。大学と卒業生を結ぶ、こうした珠玉の集いが益々盛んになることを祈念し、報告とさせていただきます。



■教育学部棟(新1号館)の建設

このたび新築する新1号館は、教育学部の専用校舎です。建物内には小学校や保育園の実際の教室を再現した模擬授業室・模擬保育室を配置し、授業や保育の進め方等を体験的かつ実践的に学ぶことができます。また、教職関係の資料スペースを広く設置して公立小・中・高等学校の教員採用試験に向けた良好な学修環境を確保します。

教職課程等の学修には、教員や学生相互の細かなコミュニケーションが有効であることから、教員の研究室とゼミ室を隣接させる予定です。ゼミ室は、授業で使用することはもちろん、学生同士のグループ学修も可能な環境となっており、学修の中で疑問点等に隣接する研究室内の教員と一緒に取り組みながら、学修の成果を高めることができます。

3階には根の谷川や可部の町を一望できる屋外テラスを設置して、学生同士、学生と教員の開放的なコミュニケーションを容易にするとともに、教員採用試験等の学修の合間を癒すリラクゼーション空間として利用ができる校舎となっています。



完成予想図(教育学部専用校舎・西門から)



完成予想図(ラーニングアトリウム)

文教生が奏でる♪ HARMONY

昭和44年卒 短期大学部 食物栄養学科 沖津 富枝(旧姓:中川)

母校の発展を、テレビ等で拝見し嬉しく思っています。母校の近く河戸で生まれ育ち、講義を休むことなく歩いて通った農道を、懐かしく思い出している古希の我身であります。63歳にして4回目で合格した介護福祉士。天職として現役で頑張っています。

昭和56年卒 短期大学部 食物栄養学科 横田 澄子(旧姓:田口)

数十年前より、食物栄養学科のクラスメイトとの同窓会を2年に一度開催しています。その会の名前を、会報誌の「すずらん」、文教の「ブン」、恩師である豊後先生の「ぶん」より「すずらんブンぶん35」と命名し、有馬温泉旅行に出かけました。文教で共に過ごした時間は、たった2年間でしたが、何十年たっても変わらない友情に、深く感謝するとともに、母校のますますの繁栄をお祈りしております。

平成5年卒 文学部 初等教育学科 木村 綾子(旧姓:井野)

毎年「すずらん」が手元に届くのを楽しみにしています。会報を手にして、鬼籍に入られた恩師の名前を目にするのは少し淋しくも感じますが、後輩や同期の活躍を知り、発展していく母校を誇らしく感じます。

平成9年卒 文学部 英文学科 坂本 浩美(旧姓:仁保)

在学中以来、縁あって結婚後に可部に住むことになりました。身近に広島文教女子大学の情報を耳にしたり、メディア等で拝見したりすることが多くなり、とても喜ばしく思っております。

郵便はがき

お手数ですが
62円分の
切手を
お貼り下さい。

7 3 1 0 2 9 5

美樹会事務局 行

広島市安佐北区可部東一丁目二番一号
広島文教女子大学

美樹会は、学生のみなさんの
大学生活を応援しています。

平成30年度
活動報告

「同窓会美樹会奨学金給付式」

平成30年7月12日(木)、学長室において、同窓会美樹会奨学金給付式が執り行われました。奨学生3名へ証書が授与されました。

「美樹会文庫コーナーの設置」

本学図書館には、「美樹会文庫コーナー」を設置していただいています。学生のみなさんが有意義に図書館を利用していただけるよう、図書館イベント「ブックハンティング」の活動支援を行っています。

※その他の大学の最新情報は
ホームページやLINE(@bunkyo-line)でご覧いただけます。

謹んでご冥福をお祈りいたします

(平成29年5月1日～平成30年3月31日)

- 横山 邦治 先生(元学長) 平成29年10月20日(享年86)
- 南村 俊夫 先生(元教職センター 教授) 平成29年10月3日逝去(享年81)

退職された先生

(平成29年4月1日～平成30年3月31日付)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ● 初等教育学科 教授 | 高橋 泰道 先生 |
| ● 初等教育学科 教授 | 善本 桂子 先生 |
| ● 心理学科 准教授 | 松高 由佳 先生 |
| ● BECC 特任講師 | ジェイコブ・ローレンス 先生 |
| ● BECC 特任講師 | レベッカ・シュミット 先生 |
| ● 初等教育学科 助手 | 黒田 愛乃 先生 |
| ● 心理学科 助手 | 兼田 知美 先生 |
| ● 人間栄養学科 助手 | 藤原 久子 先生 |
| ● 人間栄養学科 助手 | 大西 成美 先生 |
| ● 経理課 主任 | 三戸 直子 先生 |
| ● BECC事務室 主任 | 矢上 ひろみ 先生 |
| ● 入試広報課 兼 ICT推進課 事務職員 | 山田 将史 先生 |
| ● 淳風寮 栄養士 | 池田 智子 先生 |
| ● 淳風寮 舎監 | 岡田 玲子 先生 |

切り取り線に沿って、本紙より切り離してご使用ください。

○ハーモニーへ原稿掲載ご希望の方、住所・名前の登録内容変更ご希望の方は、下記欄にご記入の上、返信ください。

フリガナ			(旧姓)
名 前			
卒業年	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 文学部 <input type="checkbox"/> 人間科学部 <input type="checkbox"/> 短期大学部	学科卒業	
<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	年		
お問い合わせ項目に <input checked="" type="checkbox"/> をお願いいたします。 ※新住所・名前の変更希望は下記連絡先欄へご記入ください。			
<input type="checkbox"/> 現住所の変更希望 <input type="checkbox"/> 名前の変更希望			
<input type="checkbox"/> 今後、美樹会会報誌の送付を希望しない			
連絡先	新住所 〒		
	名 前:		
	電 話 ()	—	
ハーモニー(第30号2019年発行予定・掲載)			

※ハーモニー掲載事項:卒業年・学科・名前(旧姓)・ご記入内容
※これらの個人情報は美樹会の運営のみに使用いたします。

事務局より

- 住所、名前の変更がございましたら、左記の返信はがきまたはメールにてお知らせください。
- ご結婚を予定されている方は、美樹会より祝電のお祝いをさせていただきます。学科、卒業年、名前、新姓のほかに結婚式の日時、式場名、式場の住所をお知らせください。
- ハーモニーの原稿を募集しています。在学中の思い出や近況を返信はがきまたはメールにてお知らせください。
- 会報に関するご意見、ご感想等、お気付きの点がございましたら、学科、卒業年、名前を明記の上お寄せください。

編集後記

第29号「すずらん」はいかがでしたでしょうか？今回も多くの先生、卒業生、在学生の方々にお力添えをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。
“美樹会”はたくさんの方からの愛情により、これからも一歩一歩成長できればと思っています。

平成30年9月20日発行 / 広島文教女子大学美樹会
〒731-0295 広島市安佐北区可部東一丁目2番1号
TEL(082)814-3191(代表) FAX(082)815-6801
E-mail mikikai@h-bunkyo.ac.jp 編集 / 株式会社 デルタプリント